

# 高校日本史プリント（過去問類似）

## 近代 I（開国～明治） No.1

名前

得点

/11

問1 江戸時代後期、古典籍の散逸を防ぐために『群書類従』などの膨大な史料集を編纂・刊行し、のちの近代における歴史研究や伝統文化再評価の基盤を築いた全盲の国学者は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 塙保己一                      2. 杉田玄白                      3. 新井白石                      4. 本居宣長

問2 ロシアの東アジア進出を警戒するイギリスの思惑を背景に、1894年に日英通商航海条約を調印し、領事裁判権の撤廃と関税自主権の一部回復を成し遂げた当時の外務大臣は誰か。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 青木周蔵                      2. 大隈重信                      3. 加藤高明                      4. 陸奥宗光

問3 明治政府において初代司法卿として司法制度の近代化に尽力したが、1873年の明治六年の政変で征韓論を主張して下野し、翌年には故郷で不平士族を率いて反乱を起こしたものの、敗れて処刑された人物は誰か。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. 副島種臣                      2. 西郷隆盛                      3. 江藤新平                      4. 板垣退助

問4 明治中期の産業革命期に、都市の細民や工場労働者、小作農などの悲惨な生活実態を克明に描いたルポルタージュ『日本之下層社会』を著した、当時の代表的なジャーナリストは誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 松原岩五郎                      2. 高野房太郎                      3. 西川光二郎                      4. 横山源之助

問5 日露戦争後、日本はロシアから遼東半島南部の租借権を継承して関東州とした。この地域を統治するために設置された関東都督府が置かれた、遼東半島先端部に位置する都市はどこか。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 大連                              2. 奉天                              3. 旅順                              4. 長春

問6 明治維新时期において、各藩が自藩の独立のみを追求する割拠状態を排し、朝廷を中心に諸藩が一体となることで、欧米列強に対抗できる統一国家を形成しようと考え、1869年の土地と人民の朝廷への返還の実現に向けて、薩摩藩の大久保利通らとともに関係各藩への働きかけを主導した長州藩出身の政治家は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 大隈重信                      2. 板垣退助                      3. 西郷隆盛                      4. 木戸孝允

問7 1880年代の東アジア情勢において、朝鮮での親日派によるクーデターの失敗（甲申政変）を機に、日清両国の武力衝突を回避する目的で1885年に結ばれた外交取り決めは何か。この取り決めに基づき、1894年の東学党の乱（甲午農民戦争）の際、日清両国は互いに事前通告を行った上で朝鮮へ出兵することとなった。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 漢城条約                      2. 江華条約                      3. 天津条約                      4. 下関条約

問8 京都から追放され、さらに幕府による征討などで窮地に陥った長州藩と、公武合体派の立場から幕府を支えつつもその独裁化を懸念していた薩摩藩との間で、坂本龍馬らの仲介により1866年に結ばれた密約を何というか。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. 薩土盟約                      2. 薩土密約                      3. 公武合体                      4. 薩長同盟

問9 日本は1885年に銀本位制を整えたが、安政の五か国条約の相手国すべてが当時すでに金本位制を採用していたわけではない。この条約の相手国のうち、日本が貨幣法を制定して金本位制へ移行したのと同じ1897年に金本位制を採用した、シベリア鉄道の建設などを進めていた帝国はどこか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. アメリカ                      2. フランス                      3. ロシア                      4. イギリス

問10 1892年の第2回衆議院議員総選挙において、警察や地方官を動員して民党の当選を阻む激しい選挙干渉を主導した、第1次松方正義内閣の内務大臣は誰か。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 後藤象二郎                      2. 大久保利通                      3. 西園寺公望                      4. 品川弥二郎

問11 明治期の条約改正交渉において、外国人判事を大審院に任用するなどの妥協案を提示して交渉を進めたが、その内容が新聞に報じられて国内の反対運動が激化し、国家主義組織のメンバーによる爆弾テロで右脚を失う重傷を負って辞職した外務大臣は誰か。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. 陸奥宗光                      2. 大隈重信                      3. 青木周蔵                      4. 榎本武揚

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 1 堀保己一	江戸時代後期の国学者である彼は、幕府の援助を得て和学講談所を設立し、古典籍の収集・保存に努め、一大叢書である『群書類従』を編纂した。この事業は、近代における日本の古典研究や歴史研究に多大な影響を与えた。
問2	答え 4 陸奥宗光	第2次伊藤博文内閣の外務大臣として条約改正交渉にあたった人物である。イギリスがロシアの南下政策に対抗するために日本への接近を図ったという国際情勢を捉え、日清戦争の開戦直前に日英通商航海条約の調印に成功した。
問3	答え 3 江藤新平	江藤新平は佐賀藩出身の政治家で、明治政府において初代司法卿などを歴任し、法制度の整備に貢献した。しかし、征韓論をめぐる対立（明治六年の政変）で下野した後は帰郷し、1874年に佐賀の乱を起こした。反乱は政府軍によって迅速に鎮圧され、江藤は捕らえられて処刑された。
問4	答え 4 横山源之助	産業革命の進展に伴う社会問題（労働問題や貧困問題）に関心を持ったジャーナリストであり、都市の貧民窟やマッチ工場、織物工場などの労働現場を自ら取材し、1899年に『日本之下層社会』を刊行した。これにより、それまで光の当たらなかった下層民衆の生活実態が広く世に知られることとなった。
問5	答え 3 旅順	日露戦争後のポーツマス条約により、日本はロシアから遼東半島南部の租借権を継承した。この地域は関東州と名付けられ、その統治機関として1906年に関東都督府が旅順に設置された。旅順は軍事的な要衝であり、日露戦争における激戦地としても知られる。
問6	答え 4 木戸孝允	桂小五郎の名でも知られるこの人物は、各藩が個別に勢力拡大を図る割拠体制では欧米列強に対抗できないと考え、朝廷を中心とする中央集権国家の樹立を目指した。その第一歩として、薩摩藩の大久保利通らと連携し、藩主から朝廷への土地と人民の返還（版籍奉還）を推進した。
問7	答え 3 天津条約	1884年の甲申政変後、日清間の緊張を緩和するために1885年に日本（伊藤博文）と清（李鴻章）の間で結ばれた。将来の朝鮮出兵時における相互の事前通告義務が定められていたため、1894年の甲午農民戦争の際にはこの規定に基づいて両国が出兵し、日清戦争へと発展した。
問8	答え 4 薩長同盟	1866年、土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎らの仲介により、薩摩藩の西郷隆盛と長州藩の木戸孝允（桂小五郎）の間で結ばれた。それまで対立関係にあった両藩が提携したことで、幕府による長州再征は失敗に終わり、倒幕への流れが決定づけられた。
問9	答え 3 ロシア	安政の五ヶ国条約の相手国（アメリカ、イギリス、フランス、ロシア、オランダ）のうち、ロシアが金本位制を採用したのは1897年である。したがって、日本が銀本位制を採用した1885年時点で、すべての相手国が金本位制を採用していたわけではない。ロシアは日本と同じ1897年に金本位制へと移行した。
問10	答え 4 品川弥二郎	1892年の第2回衆議院議員総選挙において、第1次松方正義内閣の内務大臣であった品川弥二郎は、民党の進出を阻むために警察や地方官を動員した激しい選挙干渉を主導した。この干渉により多数の死傷者が発生し、世論の激しい非難を浴びた品川はのちに辞職に追い込まれた。
問11	答え 2 大隈重信	井上馨の条約改正交渉が挫折したのち、外相に就任した大隈重信は、国別の個別交渉方式を採用し、アメリカ・ドイツ・ロシアとの間で新条約を調印した。しかし、外国人判事を大審院に任用するという妥協案がロンドン・タイムズ紙に掲載されて日本国内に伝わると、主権侵害であるとして激しい反対運動が起こり、玄洋社系の来島恒喜による爆弾テロで大隈は重傷を負い、交渉は中断された。